

---

◎議案第48号の上程、説明、質疑、討論、採決

○議長（稲葉昭宏君） 日程第7、議案第48号 平成26年度松崎町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）についての件を議題といたします。

議案の朗読は省略して、提出者から提案理由の説明を求めます。

○町長（齋藤文彦君） 議案第48号は、平成26年度松崎町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）についてであります。

詳細は担当課長をして説明します。

（健康福祉課長 高木和彦君 提案理由説明）

○議長（稲葉昭宏君） 以上で提案理由の説明を終わります。

これより質疑に入ります。

質疑を許します。

○7番（関 唯彦君） ちょっと聞きたいんですけど、私もわからない部分があって、支出のところの11ページです。後期高齢者の連合への納付金なんですけれども、これは、向こうの連合の方から、この金額というか、事務費とかなんかも精算の9月の前にくるんでしょうか、それとも、こちらで連合納付金というのは、ある程度算定してここに乘っけてくるのか、その辺を、連合の納付金を知りたいんですけど。

それと、もう1点、予算のときにも6万9000円収入と支出が合わなかったんですけど、今回も細かく計算してみると3000円の差が出てくるんですけど、これは調整はいくらでもできたんじゃないかと思うんですけど、わずか3000円とは思うんですけど、予算ですから、調整はした方がいいのではないのかなと思うんですね。例えば、歳入の雑収入のところを下げ、歳出の保険の負担金くらいの両方を下げちゃえば、こっちは合うのかなと思ったりするんですけど、その辺で余った予算ですけども、これも予算ですから、戻した方がいいのかなと思うんですが、その辺の考えを・・・。

○健康福祉課長（高木和彦君） まず、1点目の11ページの連合会の納付金につきましては、本算定を受けたことにより、私どもで再計算して、こちらの方で出した数字でございます。

その調整の関係ですけども、また詳細につきましては、担当の方もちょっとお話をさせていただけますけれども、この後期高齢者医療の会計というのは、単純なようで数字の出し方が、連合で出してくる数字とうちの方で計算する数字とがありまして、収入、支出のどこ

ろで、収入について多い分についてはカットし、歳出の方については、プラスというような計算がありまして、この会計については、そういう端数計算がどうしても出てきてしまうんです。そこはテクニックでいろいろ調整する方法というものはあるんでしょうけれども、今回、なかなかそこらの調整が・・・、元々の当初のときに数字が違っていたことがありまして、今回のこちらの補正のときにもその数字のずれがあったことはわかっております。

これについては、平成26年度当初のときに、ご指導いただいたものですから、私どもは新たに配分表みたいなものを、また細かいものを作っておりますので、平成27年度以降にはそういう事故というのは起きない調整はしておりますけれども、そんなことでご理解いただければと思います。

○7番（関 唯彦君） わかりました。その辺は。予算ですから、調整しようと思えば、その辺はできるんだろうと思うけれど、いろいろあって・・・。

その後期高齢者の連合の納付金なんですけれども、678万1000円引いて、被保険者それからここに出ている説明の欄の保険料等負担金、その部分なんですけれども、1号被保険者と保険基盤安定の部分、それから、それ以外に43万9000円がありますよね。それは、延滞金や過料と考えていいでしょうか。

○保険年金係長（美澤一廣君） それでは、関議員からのご質問ということで、保険料の方の納付金ということで43万9000円ということでしたけれども、関議員がおっしゃるように延滞金、過料の部分とあとは前年度の繰越金のなかに出納整理期間に納付されました保険料が入っていますので、そちらを返すような形になって、合計がその金額になるということでございます。

○議長（稲葉昭宏君） ほかに質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（稲葉昭宏君） 質疑なしがないようでありますので、質疑を終結したいと思います、これにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（稲葉昭宏君） 異議なしと認めます。

よって、質疑を終結いたします。

これより討論に入ります。

まず、本案に対する反対討論の発言を許します。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(稲葉昭宏君) 反対討論なしと認めます。

次に、本案に対する賛成討論の発言を許します。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(稲葉昭宏君) 反対討論なしと認めます。

これをもって討論を終了します。

これより議案第48号 平成26年度松崎町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)についての件を挙手により採決します。

本案は原案のとおり決することに賛成の諸君の挙手を求めます。

(挙手全員)

○議長(稲葉昭宏君) 挙手全員であります。

よって、本案は原案のとおり可決されました。

---